



～ いじめ撲滅(ぼくめつ)宣言 ～

校長 長田 信彦

先月15日に、児童代表委員会から全児童に向けて発信された“いじめぼくめつ宣言”。その代表委員会便りには、次のように広報されていました。

いじめぼくめつ宣言

だいひょういんかい 代表委員会では、つぎ 次のように かんがえ 考え ました。

こうがくねん 高学年... たが 相互の りかい 理解を ふか 深めるために、あいて 相手のよいところを み 見つけよう。

ていがくねん 低学年... ともだちとなかよくするために、ともだちのよいところを み 見つけよう。

これをもとに、かくくらす 各クラスで はな あ 話し合い、いじめぼくめつ宣言を せんげん 決めてください。

新聞等の報道にあります。平成23年3月11日に発生した、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所の事故後、福島県から横浜市に避難した男の子の記事です。当時小学2年生であった男の子に、転校した新しい学校で待っていたのは、新しい友達でもなく、楽しい学校生活でもなく、安心して暮らせる学校でもなく、自分の居場所を失った考えもつかない冷たい仕打ち「いじめ」でした。

東京都教育委員会の防災教育補助教材「3・11を忘れない」の表紙に“まず自分の命を守り、次に身近な人を助け、

さらに地域に貢献できる人になるために”とあります。また、練馬区教育委員会のいじめ問題対策方針では、基本姿勢として.....

○いじめは、人間として絶対に許されない人権侵害です。

○いじめは、どの児童生徒にも、どの学校(園)においても起こり得るとの認識に立ち、いじめが発生した場合には、いかなる理由があっても被害者の側に寄り添い組織で対応します。

とあります。開二小の全教職員もまさにこの考えにたち、いじめの撲滅・防災教育に更に取り組んで参ります。

児童代表委員会の呼びかけで作られた各クラスの“いじめぼくめつ宣言”につきましても、各ご家庭で子ども達にお聞きいただき、子ども達の思いや考えを深めるなど、人権をも含めて話をしてみてください。よろしく願いいたします。

11月25日(金)・26日(土)に開催した本校の“開二小ワンダーランド”(展覧会)はいかがだったでしょうか。全校共同作品「ワンダーゲート」「ウェルカムフラッグ」をはじめ、子ども達一人ひとりの心のこもった作品が、私たち大人にも夢と希望と可能性、そして大きく成長していこうとする姿を見せてくれたような気がしました。

ご参観、ありがとうございました。明日へ続けていきたいと思っております。